

# 歯科コミュニケーション支援カードの活用方法

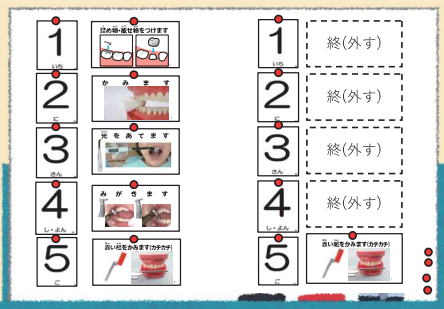
使用するカードを選択してお使いいただけます。

必要な治療や支援の方法は様々あり、一人一人異なります。状況に応じて必要なカードを組み合わせ、歯科受診や口腔ケアに御活用ください。

## 使用例 1

実施する診療のカードを数字のカードと一緒に縦や横に並べて用い、全体の流れ、ステップ及び治療の終わりを示します。

また、終わったカードを外していくことで、残りのステップを双方で確認することもできます。



## 使用例 2

実施する診療内容のカードを選択してリングで綴じ、治療開始前に1枚ずつめくりながら診療の流れを事前に説明するために用います。治療が進むごとにページをめくり、次のステップを説明します。

また、複数の器具等が含まれるカードは、その日に使用する器具のみを指さしなどで説明する他、使用しない器具を隠すなどして用います。



## カードの組合せ例

事前に治療内容に合わせたセットを組んでおくことで、その日の治療に合わせて使用できます。様々な治療場面で活用できるよう、文章での説明は最小限にとどめているカードもありますが、以下を参考に使用頻度の高いカードを事前に組み合わせておくことで、治療前の準備時間を短縮することができます。

※No-カード右下の通し番号

診療が始まるまで	▶ No.1~No.8
口腔内診査	▶ No.9~No.17
むし歯の治療	▶ No.18~No.21
詰め物・被せ物を作る	▶ No.22~No.26
詰め物・被せ物をつける	▶ No.27~No.30
根管治療	▶ No.19・No.31
口腔ケア	▶ No.33~No.57

## 白紙カードの活用方法

白紙カードには、治療や説明に必要な写真やイラストを追加して使用します。器具や人の写真など様々なものに御活用ください。

例：主治医の写真



例：歯科医院の外観の写真



東京都西多摩保健所